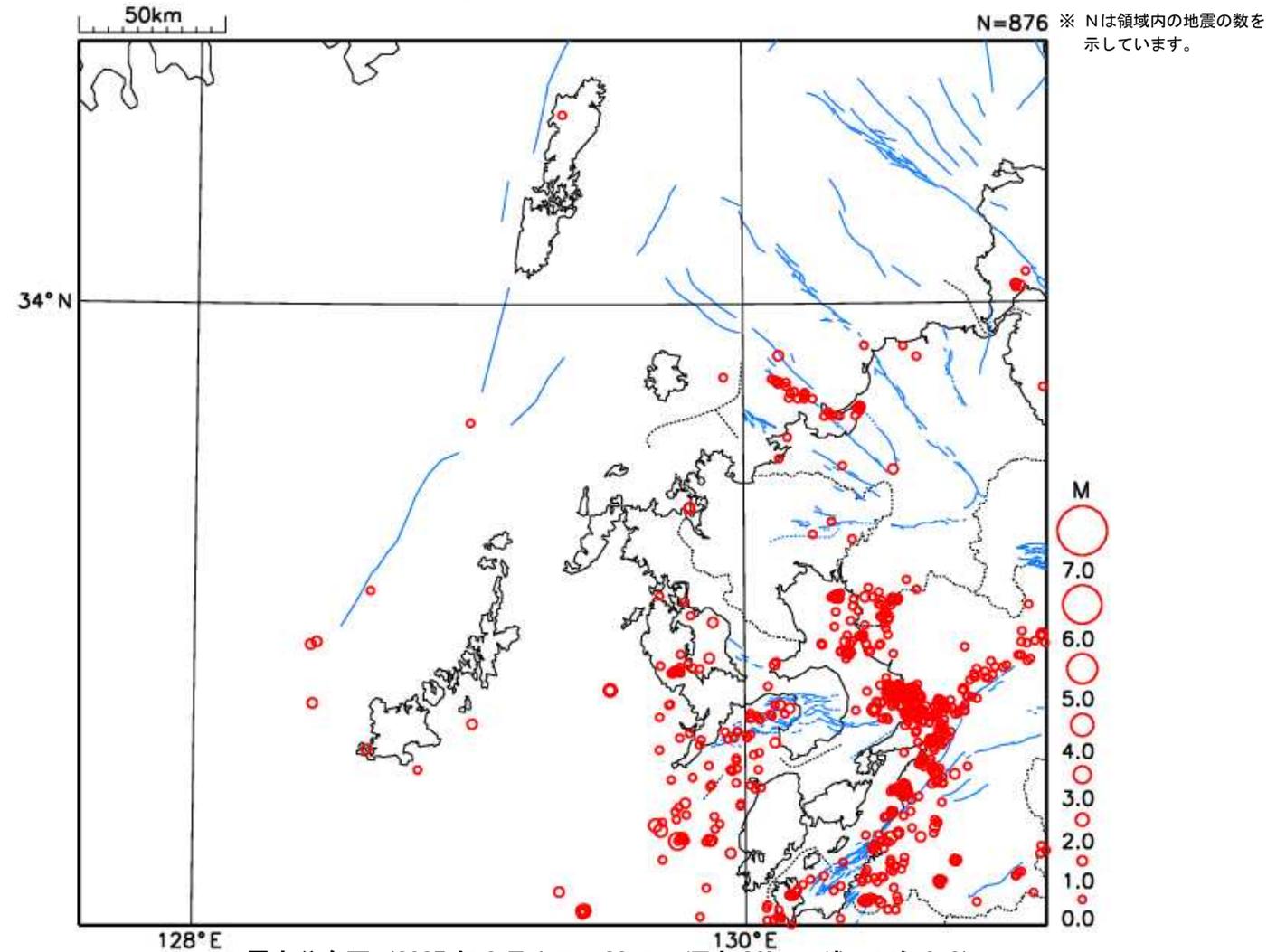


長崎県の地震活動概況 (2025年6月)

令和7年7月10日
長崎地方気象台

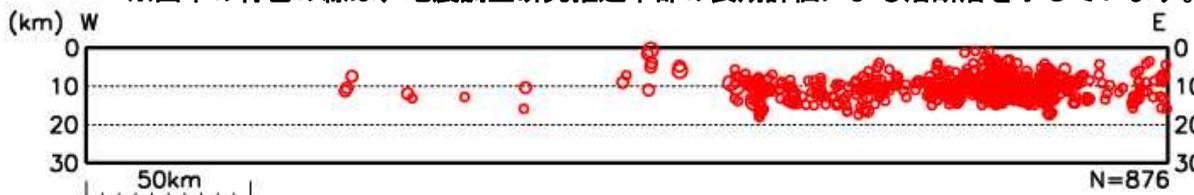
地震活動の概況 (2025年6月)

6月に長崎県内で震度1以上を観測した地震は震央分布図領域外の1回でした(5月は1回)。
詳細は2~3ページのとおりです。



震央分布図 (2025年6月1日~30日、深さ30km以浅、 $M \geq 0.0$)

※図中の青色の線は、地震調査研究推進本部の長期評価による活断層を示しています。



断面図 (2025年6月1日~30日、深さ30km以浅、 $M \geq 0.0$)

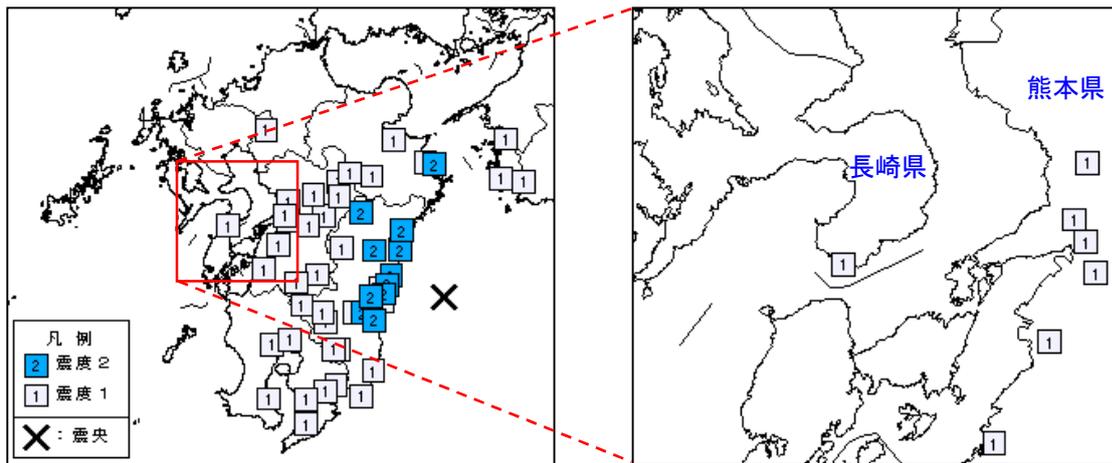
(震央分布図を南の方から見た断面図です)

※ 本資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成している。また、2016年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点(河原、熊野座)、2022年能登半島における合同地震観測グループによるオンライン臨時観測点(よしが浦温泉、飯田小学校)、EarthScope Consortiumの観測点(台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東)のデータを用いて作成しています。

日向灘（1頁震央分布図領域外）

18日21時30分に日向灘で発生したM4.7の地震（深さ25km）により、宮崎県宮崎市、大分県佐伯市などで震度2を観測したほか、九州地方から四国地方にかけて震度1を観測しました。長崎県では南島原市で震度1を観測しました（図1）。

今回の地震の震源付近（図3領域b）では、2025年1月15日にM5.4の地震（深さ29km、最大震度4）が発生し、長崎県では、南島原市で震度2を観測したほか、雲仙市で震度1を観測しました（図2～図4）。



6月18日21時30分 M4.7
図1 震度分布図 左：市区町村別 右：観測点別

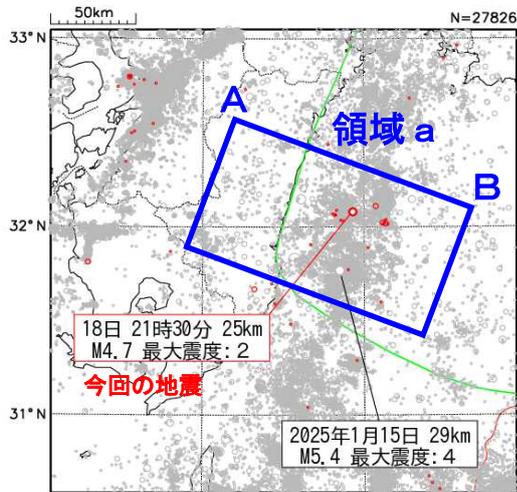


図2 震央分布図

(1994年10月1日～2025年6月30日 深さ0km～100km M \geq 2.0)
 ※2025年6月の地震を赤で表示
 ※緑色の実線は、南海トラフ巨大地震の想定震源域を示す

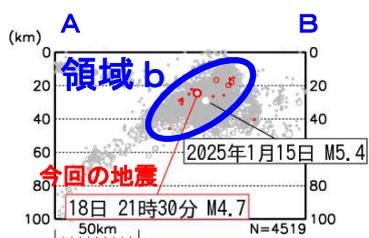


図3 図2領域a内の断面図（A-B投影）

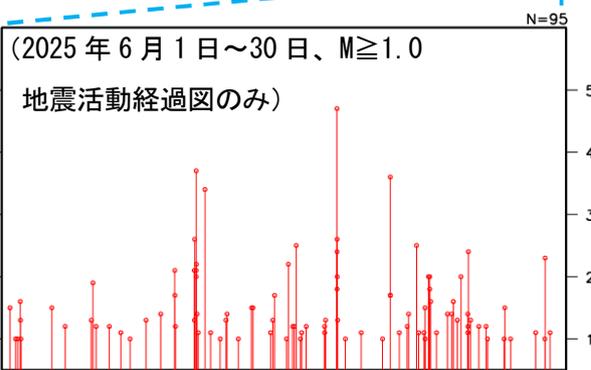
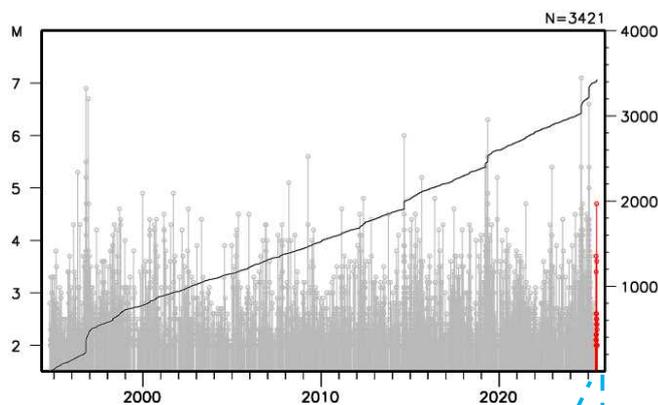


図4 図3領域b内の地震活動経過図及び回数積算図

長崎県内で震度 1 以上を観測した地震の表 (6 月 1 日~30 日)

| 地震発生時刻 各地の震度 | 震央地名 | 北緯 | 東経 | 深さ | 規模 |
|--|------|--------------|---------------|------|------|
| 2025 年 06 月 18 日 21 時 30 分 震度 1 : 南島原市口之津町* | 日向灘 | 32 ° 04.8' N | 131 ° 55.8' E | 25km | M4.7 |

注) 震源要素 (緯度・経度・深さ・M) は、暫定値であり、データは後日変更されることがあります。

*を付した地点は地方公共団体または国立研究開発法人防災科学技術研究所の震度観測点です。

津波から命を守るために ～ すぐ避難 ～

これから海のレジャーシーズンが始まります。魚釣り・海水浴・磯遊びなどで海辺に行くときは、津波避難場所や避難ビル、避難経路を確認しましょう。

海辺で地震による揺れを感じたときや、大津波警報・津波警報・津波注意報（以下「津波警報等」という。）が発表されたときは、ただちに安全な場所に避難しましょう。

海辺で強い揺れを感じたら

海辺から離れ

長くゆっくりした揺れを感じたら

より高い

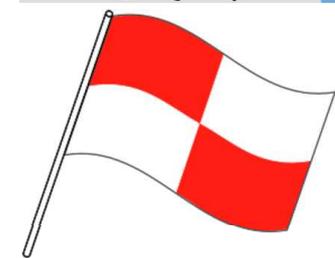
津波警報等を見聞きしたら

安全な場所へ!!

- 津波警報等解除までは気をつけて
津波は繰り返し襲ってきます。津波到達後も津波警報等が解除されるまで気を緩めず、避難を続けてください。
津波警報が出ている間は、絶対に戻ってはいけません。
- 津波注意報でも海中は危険
津波注意報が出ているところでは、海水浴や磯釣りは危険です。ただちに海から上がって、海岸から離れてください。
- 正しい情報を入手
テレビやラジオ、広報車、防災行政無線などを通じて正確な情報を入手しましょう。
- 津波フラッグは避難の合図
赤と白の格子模様のこの旗は、津波警報等が発表されたことをお知らせする合図です。この旗を見たらすぐに避難しましょう。

※津波フラッグの詳細については、気象庁 HP をご覧ください。

https://www.jma.go.jp/jma/kishou/now/jishin/tsunami_bosai/tsunami_bosai_p2.html



○津波に備えよう!

❖ 危険な場所を確認

自宅や学校、職場周辺などで津波に襲われるおそれのある場所をハザードマップや周囲の地形から確認しておきましょう。海から離れていても、川に沿って津波が襲ってくることもあります。



津波注意

津波が来襲する危険のある地域を示します

❖ 避難場所を確認

津波避難場所や避難ビルがどこにあるか、また避難経路などを周りの人と確認しておきましょう。避難場所は1ヶ所だけでなく、さらに高い場所にあるところも調べておきましょう。



津波避難ビル・津波避難場所

津波から一時的に避難する場所を示します

❖ 訓練に参加しよう

実際に避難経路をたどってみるなど、積極的に訓練に参加しましょう。

